

分配金のお知らせと設定来の運用状況について

2019年7月18日

平素は、『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「為替ヘッジあり／隔月分配型」、「為替ヘッジなし／隔月分配型」は、2019年7月17日に決算を迎え、当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

なお「為替ヘッジあり／資産成長型」および「為替ヘッジなし／資産成長型」の決算日は毎年3月17日および9月17日（休業日の場合翌営業日）となっております。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各コースの分配金（1万口当たり、税引前）

	為替ヘッジあり ／隔月分配型	為替ヘッジなし ／隔月分配型
当期決算 分配金	30円	70円
基準価額 2019年7月17日現在	10,414円	10,073円

『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人） [隔月分配型]』の収益分配方針は、以下のとおりとなっております。

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、継続的な分配を行うことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

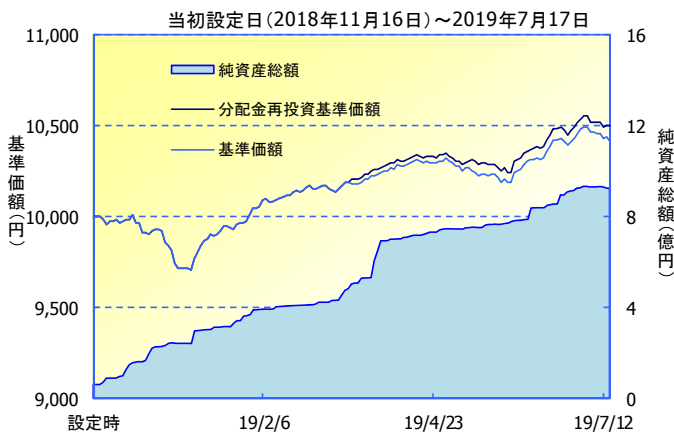
※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和投資信託）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

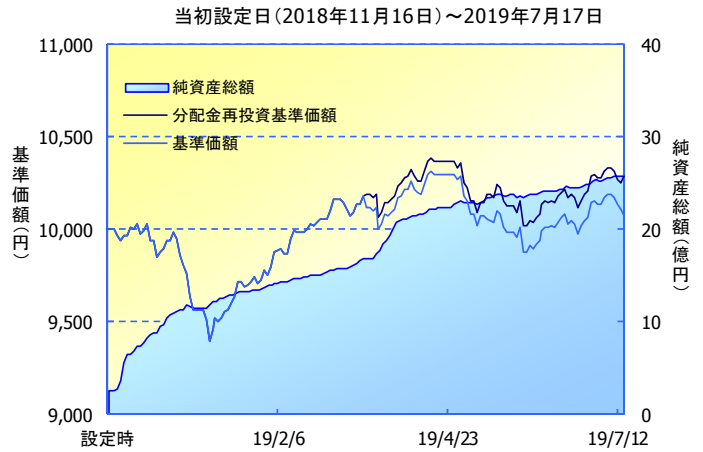
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

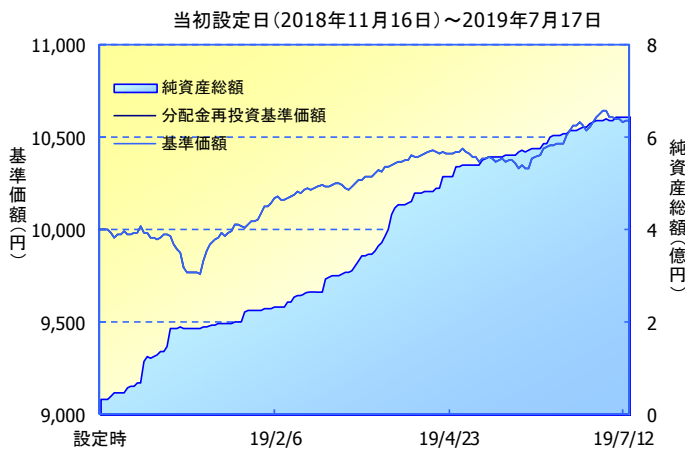
為替ヘッジあり／隔月分配型



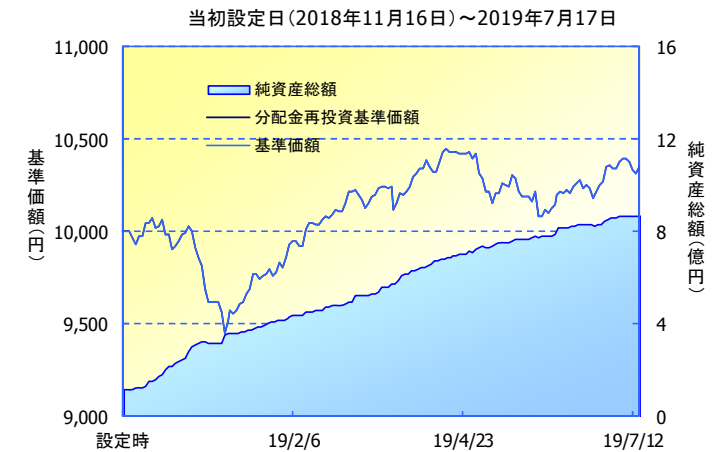
為替ヘッジなし／隔月分配型



為替ヘッジあり／資産成長型



為替ヘッジなし／資産成長型



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■ ファンドマネージャーのコメント ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

＜設定来の市場環境＞

インカム系資産（投資適格社債、優先証券）は設定来で底堅く推移、エクイティ系資産（株式）は2018年は下落したが、2019年1月以降に反発

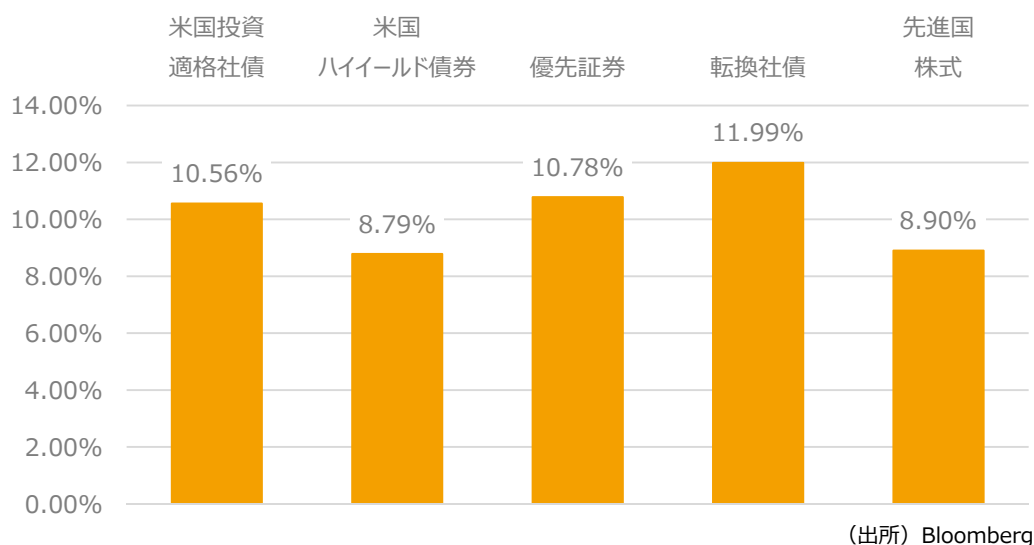
株式市場は、世界景気への懸念の強まりや、米国の一部政府機関が閉鎖されたことなどを嫌気して下落して始まりました。しかし、2019年1月以降は、10-12月期の米企業の決算発表が総じて良好な結果だったことや、米政府機関の一部閉鎖が解除されたこと、FRB（米国連邦準備制度理事会）が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことなどを好感して反発しました。5月に入り、トランプ米大統領の対中関税引き上げ警告を受けて米中通商協議への懸念が高まったことなどからリスク回避の動きが活発化し、株式市場は一時調整しましたが、6月以降は、米国で早期の利下げ期待が高まるなど緩和的な金融政策の動きが支援材料となり、再度上昇基調となりました。

債券市場では、金利はおおむね低下しました（債券価格は上昇）。世界景気への懸念の高まりや、米国のFRB高官から相次いで金融政策に慎重な姿勢が示されたことなどから、金利は低下基調となりました。堅調な株式市場を反映しながら、金利が上昇する局面もありましたが、2019年5月以降、米中貿易摩擦の長期化懸念や、米国の利下げ期待などを受けて、金利は低下基調を強めました。

このような市場環境下において、当ファンドが投資対象としている、投資適格社債や優先証券、株式はおおむね底堅く推移しました。

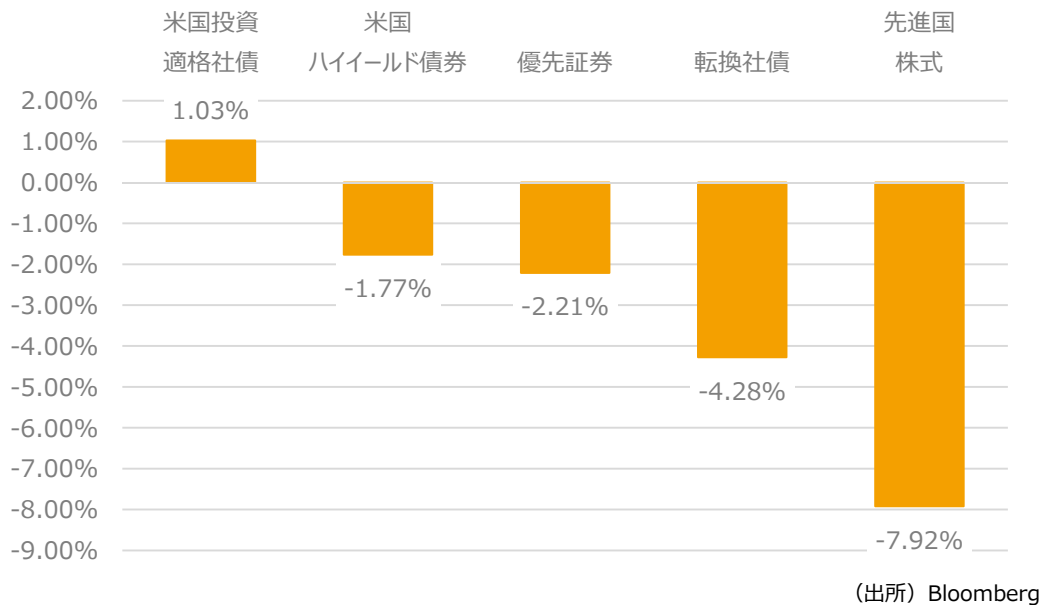
■ 設定来の資産別騰落率

（2018年11月16日～2019年7月12日）



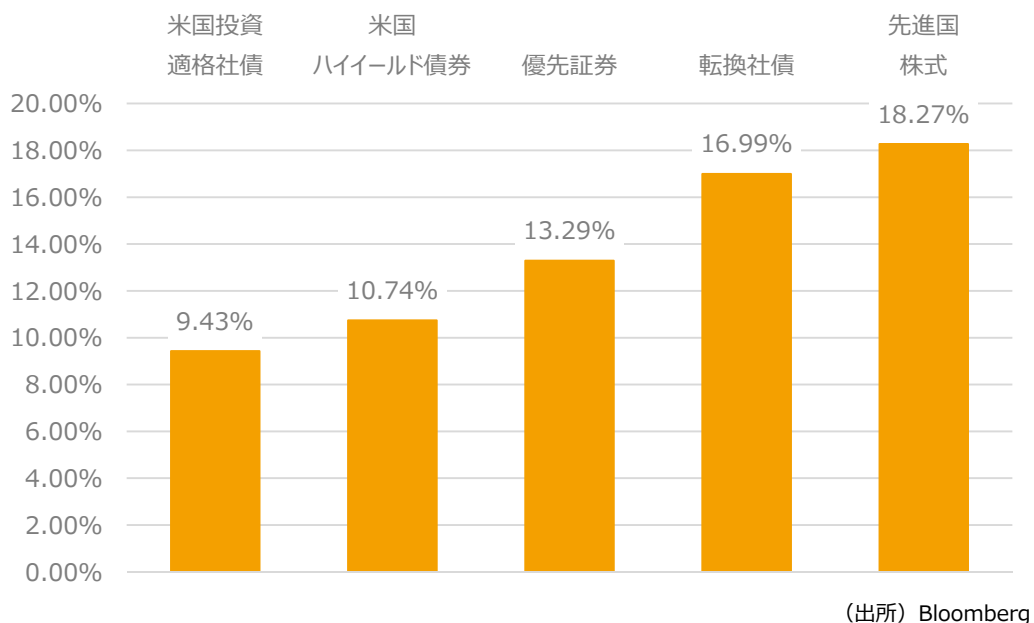
資産別騰落率（設定来～2018年末）

（2018年11月16日～2018年12月28日）



資産別騰落率（2018年末～直近）

（2018年12月28日～2019年7月12日）



※当グラフで使用した指数について

「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「先進国株式」はMSCI World Indexを使用。（全て米ドルベース。）

<設定来の運用状況>

インカム系資産（投資適格社債）中心のポートフォリオを維持

当ファンドのアセット・アロケーションは、個別企業ごとに資本構成の中で最も投資妙味が高いと考える資産クラスを組み入れました。米国の長期金利が低下基調にあり、また多くの米国企業で好決算がみられるなど企業の信用力が改善傾向にあることを考慮し、投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しました。トランプ政権の政治運営に関する先行き不透明感等を背景に、クレジット性資産に関してはクオリティの高い投資適格社債の比率を徐々に引き上げました。

米国経済は好調で、投資適格級の企業同様、非投資適格級の発行体もその恩恵を受けています。企業ファンダメンタルズの改善等を受け、非投資適格企業のデフォルト率は過去平均対比で非常に低位な水準で安定的に推移しています。このトレンドは今後も継続するとみている中、当戦略においては高クーポンが享受できるハイイールド債券の組入を維持しました。

また、優先証券については、優先証券市場における主要な発行体である金融関連銘柄を中心に投資していますが、資本増強に向けた取り組みなどを背景に大手金融機関の財務状況は健全な水準にあり、またインカム水準が魅力的な水準にあることから、ポートフォリオにおいても積極的な組み入れを継続しました。

米中貿易交渉に関して依然不透明感が残っていることに対する懸念などによって市場の変動性が高まる可能性もあることから、株式と比較して下値リスクが低い転換社債にも投資しました。

株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、組入比率を引き下げるなど慎重なスタンスとしました。

設定来において、良好なクレジット市場から恩恵を受けた投資適格社債や優先証券の組入比率を高位に維持したことなどがパフォーマンスのプラス要因となりました。

<今後の見通し>

足元では、米国では労働市場や企業決算が引き続き改善基調にあること等を背景にNWQ社では2019年も経済成長が続くとみえています。株式市場では、米中貿易摩擦問題の動向に左右される状況が続いており、市場ボラティリティが高まる相場環境が続いています。最終的には両国間で合意に達するとみている一方、両国においては関税を巡る対立のほか、米国企業への中国の産業スパイ問題、知的財産権の侵害に関する議論など対立は広範囲におよんでいることから、早期終結は想定しづらい状況にあり、引き続き動向を注視する必要があると考えます。

株式については、2018年の経済成長をけん引してきた税制改革による景気刺激効果が2019年にかけて徐々に減退すること、米中貿易摩擦問題の影響を受けることが想定されることから慎重な見方をしています。インカム系資産に関しては、米国の景気サイクルが後半期へと移行していくこと、米国の緩和的な金融政策から恩恵を受けることから、信用力の高い銘柄に投資妙味があるとみえています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

<今後の運用方針>

当ファンドのアセット・アロケーションは、個別企業ごとに資本構成の中で最も投資妙味が高いと考える資産クラスを組み入れる方針です。

足元、早期の景気後退をもたらすようなカタリストはみられていない一方、米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、当戦略では、株式と比較して投資適格社債やハイイールド社債等クレジット性資産を強気にみており、また弁済順位の高い証券に投資妙味があると考えています。

株式については、安定した経済成長と企業業績の拡大を背景として底堅い展開になると見込んでいます。しかしながら、景気サイクルが後半期に突入する中で一時的に大きく下落する局面も想定されることから、組入比率は10%程度の配分にとどめる方針です。このような市場環境下、引き続きボトム・アップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力しています。

ポートフォリオ全体としては引き続き投資銘柄および企業の選定が重要であると考えており、徹底したリサーチを通じて投資妙味のある企業および証券を選定していくことで、魅力的なリスク調整後リターンの創出が可能であると考えています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※ファンドマネージャーのコメントは、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

改めてお伝えしたい、当ファンドの3つのポイント

POINT
1

市場が大きく
変化する中でも
安定した
パフォーマンス

POINT
2

有望企業を選択のうえ、
最も投資効率の
高い証券に投資する
独自の投資戦略

POINT
3

世界最大級の
年金運用機関TIAA*の
資産運用部門である
ヌビーン
NUVEEN LLCの傘下
NWQ社が運用

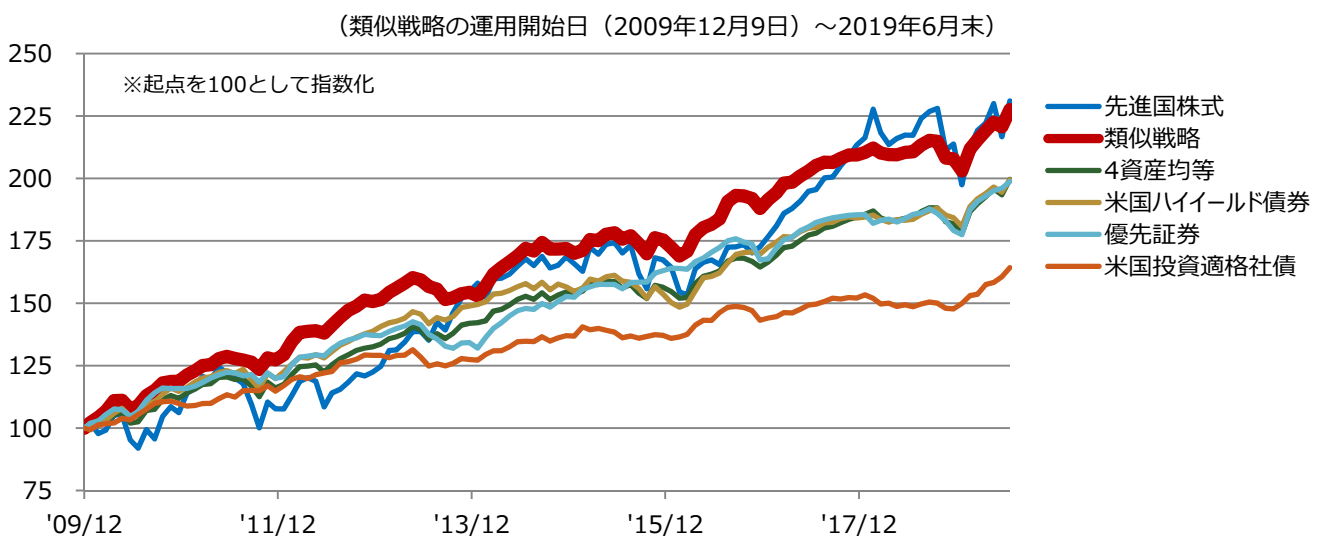
*TIAAについて、くわしくは次ページをご覧ください。

※当資料中においてNWQインベストメント・マネジメント・カンパニーをNWQ社と表記することがあります。

Point 1. 安定したパフォーマンス

当ファンドの類似戦略は世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資しています。
市場が大きく変化する中でも、安定的なパフォーマンスを実現してきました。

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス推移



※4資産均等は米国投資適格社債、米国ハイイールド債券、優先証券、先進国株式に1/4ずつ均等投資したと仮定し月次リバランスしています。※「類似戦略」は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※「類似戦略」は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※各資産は米ドルベース、トータルリターン。※「先進国株式」はMSCI World Index、「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Indexを使用。

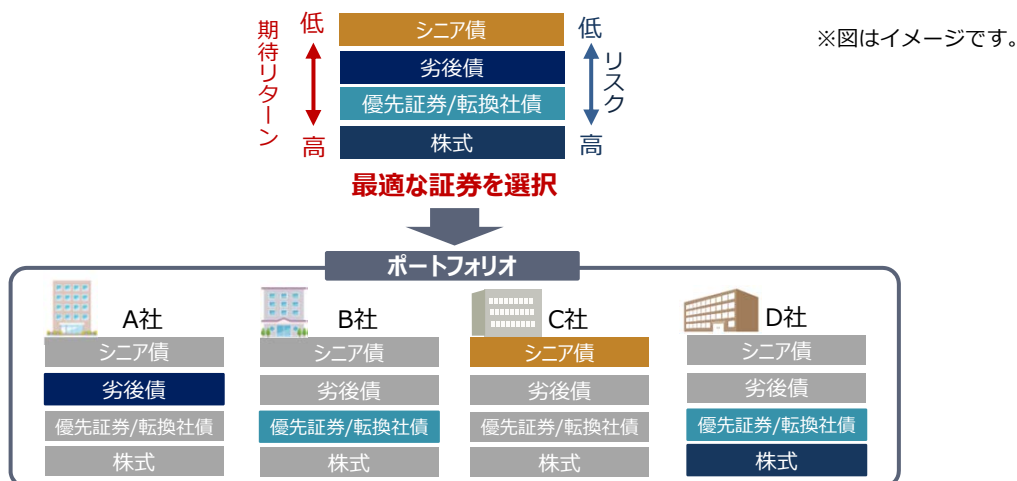
(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

Point 2. 独自の投資戦略

達人技①…徹底した調査・分析に基づいて個別企業を選択

達人技②…選択した企業が発行する複数証券の中から、最も投資効率が高い（＝リスク調整後の期待リターンが高い）証券を選択

企業が複数証券を発行している場合の証券選択方法



（ご参考）ウェルズ・ファーストの資産クラス別年次騰落率

Point

企業が発行する証券の種別や市場環境によって、各年ごとに最適な証券（＝リスク調整後の期待リターンが高い証券）は異なります。

※右記は米ドルベース、トータルリターン。
（出所）NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ファクトセット、ブルームバーグ

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
シニア債	9.9%	5.1%	11.8%	12.0%	9.1%	-0.7%	3.9%	2.1%	-3.1%	6.0%	-2.0%
劣後債	8.8%	4.4%	12.1%	5.6%	9.5%	-3.7%	10.9%	2.3%	3.6%	5.0%	-0.6%
転換社債	-20.0%	32.4%	17.2%	13.0%	23.1%	-3.3%	16.2%	1.9%	8.8%	16.4%	2.1%
優先証券	-7.4%	26.1%	13.6%	11.9%	10.3%	2.1%	11.5%	3.1%	1.2%	4.6%	-7.7%
株式	1.9%	-6.2%	15.6%	-9.5%	27.4%	36.7%	24.1%	1.9%	4.7%	13.2%	-21.8%

Point 3. NWQインベストメント・マネジメント・カンパニーについて



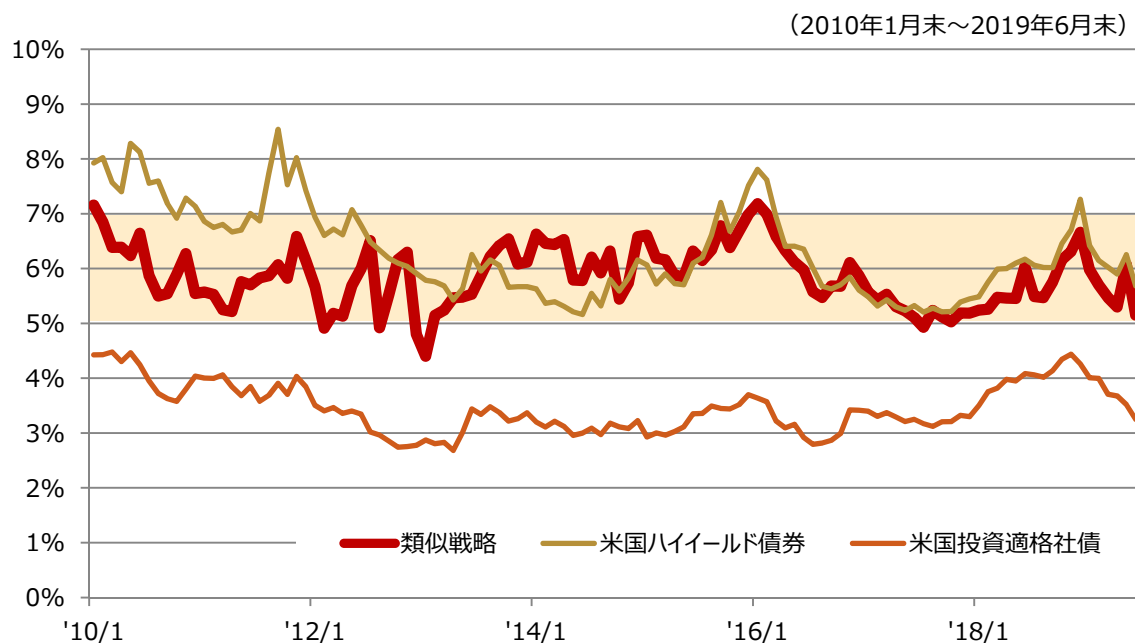
※2018年12月末時点。※運用資産残高は2018年12月末時点の為替レート（1米ドル＝109.69円）で円換算。
（出所）NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

高いインカムがパフォーマンスを下支え

当ファンドの類似戦略では、過去相対的に高い利回りを保持してきました。

相対的に高いインカムがパフォーマンスの下支えとなり、安定的なリターンの実現へとつながりました。

利回りの推移



当ファンドの類似戦略のリターンの要因分析 (2010年～2019年)

	トータル・リターン		
		①インカム収入	②価格変動
2010	18.7%	6.4%	12.3%
2011	6.7%	5.9%	0.8%
2012	17.1%	5.7%	11.4%
2013	0.9%	5.9%	-4.9%
2014	11.2%	6.3%	4.9%
2015	1.4%	6.5%	-5.2%
2016	11.1%	6.3%	4.8%
2017	9.9%	5.4%	4.5%
2018	-3.5%	5.9%	-9.4%
2019	12.1%	2.8%	9.3%
累積	122.8%	74.2%	48.6%

※2019年は6月までのデータ。

※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持つものであり、利回りの比較はあくまでご参考です。※利回りは最終利回りを使用。※「類似戦略」は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※「類似戦略」は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※各資産は米ドルベース、トータルリターン。※「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Indexを使用。(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

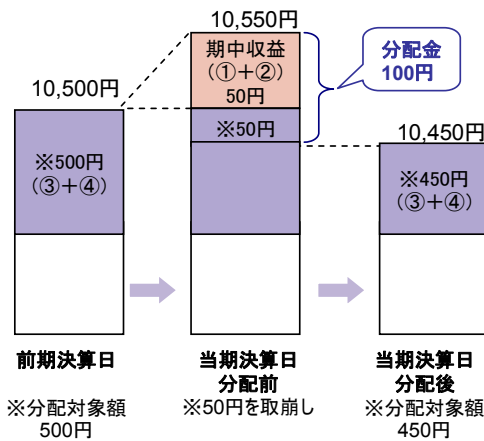
投資信託で分配金が支払われるイメージ



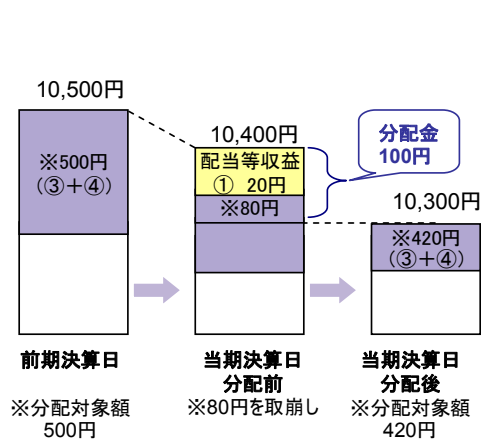
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



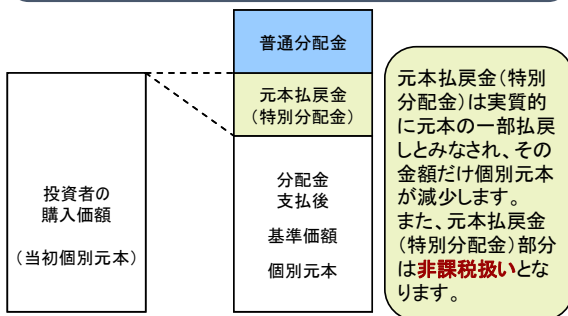
前期決算日から基準価額が下落した場合



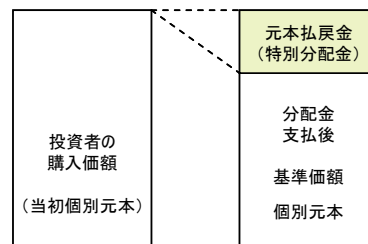
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

I ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク・リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが行ないます。

2. 「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」の4つのファンドがあります。

為替ヘッジあり／隔月分配型、為替ヘッジあり／資産成長型

- ◆ 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし／隔月分配型、為替ヘッジなし／資産成長型

- ◆ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」のいずれかのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

3. [隔月分配型] は年 6 回、[資産成長型] は年 2 回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

[隔月分配型]

毎年 1、3、5、7、9、11 月の各 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第 1 計算期間は、2019 年 3 月 17 日（休業日の場合翌営業日）までとします。

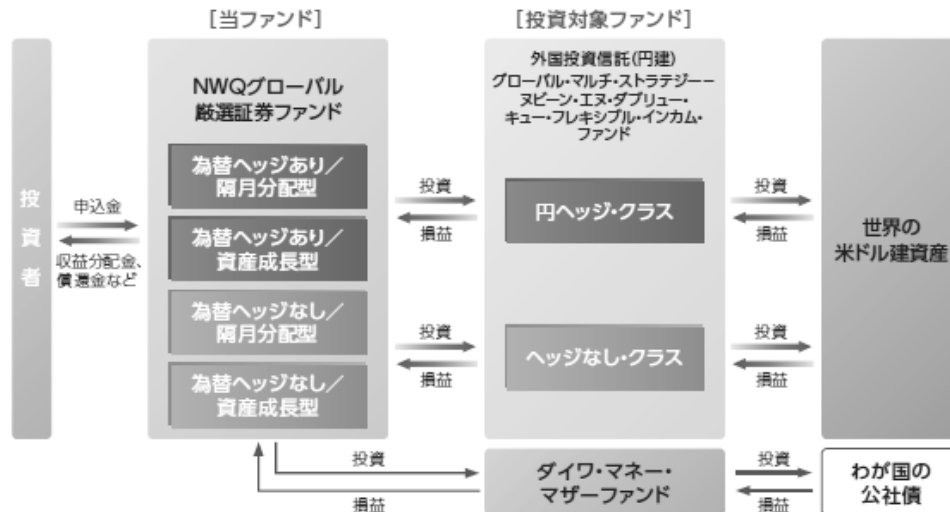
[資産成長型]

毎年 3 月 17 日および 9 月 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第 1 計算期間は、2019 年 3 月 17 日（休業日の場合翌営業日）までとします。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
- ① NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）：為替ヘッジあり／隔月分配型
- ② NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）：為替ヘッジなし／隔月分配型
- ③ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）：為替ヘッジあり／資産成長型
- ④ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）：為替ヘッジなし／資産成長型
- ◆ ①②の総称を「隔月分配型」とします。
- ◆ ③④の総称を「資産成長型」とします。
- ◆ ①②③④の総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「コントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジなし／資産成長型」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉2.16%* (税抜 2.0%) *消費税率が8%の場合の率です。消費税率が10%の場合は、2.2%となります。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.107%* (税抜 1.025%) *消費税率が8%の場合の率です。消費税率が10%の場合は、1.1275%となります。	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.657%* (税込) 程度 *消費税率が8%の場合の率です。消費税率が10%の場合は、1.6775%となります。	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）
 （愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○

2019年6月28日 現在

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産形成型）（為替ヘッジなし／資産形成型）
 （愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○